

# お小遣い管理を始める前に見直したい こんな家庭は**要注意20個**チェックリスト



お小遣いを渡しているかどうかに関係なく、  
家庭の中でお金の使い方を学ぶ機会が少ないと、  
子どもはお金との向き合い方がわからないまま大きくなってしまいます。

まずは、今の家庭の状態をチェックしてみてください。

- 子どもが欲しいと言うたびに、深く考えず買ってしまふ
- 欲しいものを買う理由を、子どもが自分の言葉で説明する機会がない
- 買う前に、今あるお金で足りるかを考える習慣がない
- お金がなくなったら、追加でもらえるのが当たり前になっている
- 前借りのような形で、その場しのぎの対応をしている
- お小遣いのルールが家庭の中で決まっていない
- 何に使ったかを振り返る習慣がない
- 使い切って終わりで、残ったお金をどうするか考える機会がない
- 欲しいものと必要なものの違いを話したことがない
- 値段を見ずに選ぶことが多い
- 似たような物を持っていても、また買ってしまふことが多い
- 親がつい、ダメ、無駄遣い、また買うの？で会話を終わらせてしまふ
- 子どもがお金のことで失敗したときに、振り返りより先に叱ってしまふ
- 家の中で、お金の話はあまりしないようにしている
- 親自身も、なんとなく使ってなんとなく終わるお金が多い
- キャッシュレス決済が多く、子どもがお金が減る感覚を持ちにくい
- お手伝い、お小遣い、貯める、使うのつながりを教えていない
- 子どもが自分で選ぶ前に、親が先に答えを言ってしまふ
- 買い物のあとに、よかった使い方だったか話すことがほとんどない
- お金を使う経験はあっても、考えて使う経験が少ない

結果は次のページ➡

# チェック結果でわかる！ あなたはどのタイプ？



## 【0～2個】「ひとまず安心タイプ」

緊急度：★☆☆☆ 非常に低い



お金について考える土台が、少しずつできている家庭です。  
ただ、このまま何となく関わるだけでは、年齢が上がって使えるお金が増えたときに迷いやすくなります。**今のうちから、お小遣い管理で「考えて使う流れ」を習慣にしておく**と安心です。

### 今すぐやること

- ・お小遣いを使ったあとに「どう思った？」と振り返る
- ・欲しいものがあるときは「本当に一番ほしいもの？」と聞く
- ・残ったお金を一緒に確認する

## 【3～4個】「ちょっと見直しタイプ」

緊急度：★★☆☆ 中程度



今すぐ大きな問題があるわけではなくても、お小遣いのルールがあいまいだったり、足りないとお金がつい出してしまうと、後から困りやすい流れが入り始めている家庭です。  
このままだと、子どもは「考える前にもらえる」が当たり前になりやすく、お金を管理する力が育ちにくくなります。**今のうちに、お小遣い管理でルールと流れを作ることが大切です。**

### 今すぐやること

- ・お小遣いのルールを決める
- ・「必要なもの」と「欲しいもの」を分けて話す
- ・足りないときはすぐ渡さず「どうする？」と聞く

## 【5～9個】「要注意タイプ」

緊急度：★★★★☆ 非常に高い



お金を使う経験はあっても、考えて使う経験が足りていない家庭です。  
このままだと、子どもは「お金は使ったら減る」「全部は買えない」「優先順位を決める必要がある」という感覚を持たないまま大きくなりやすくなり、目の前の欲しいものに飛びついて、後悔する使い方が増えていきます。ここまで来ると、口で伝えるだけでは変わりにくいので、**お小遣い管理で実際に見える形にすることが必要です。**

### 今すぐやること

- ・足りなくてもすぐ追加で渡さない
- ・買う前に「残りはいくら？」を確認する
- ・使ったあとに「よかった使い方だった？」と振り返る

## 【10個以上】「今すぐ行動必須タイプ」

緊急度：★★★★★ 極めて高い



かなり注意が必要です。お金の使い方を家庭で学ぶ機会が少ないまま、欲しいから買う、足りないを追加でもらう、使って終わりという流れが定着しかけています。このまま年齢が上がると、スマホ課金、遊び、服、推し活、バイト代など、使える金額だけが増え、気づいたときには止められない使い方になりやすいです。  
今の小さなズレが大きなお金の失敗になる前に、**今すぐお小遣い管理を始める必要があります。**

### 今すぐやること

- ・入ってきたお金や使ったお金を書き出しお金の流れを知る
- ・少額でも子ども自身に管理させる
- ・買う前と使ったあとに親子で話す

# このチェックリストの 活用方法



大切なのは、  
何個当てはまったかではなく、  
**今のうちに家庭でお金の使い方を学べる環境を作ることです。**

お金の教育は、大きくなってから急に教えられるものではありません。

- 今あるお金の中で考える
- 残りを意識する
- 優先順位を決める
- 使ったあとに振り返る



その練習を、早い段階で少額のうちから始めることが大切です。

だからこそ、お小遣いを渡すだけで終わらず、  
**子どもが自分で考えて使う力を育てるためのお小遣い管理が必要です。**



# ＼予告／ お小遣い管理セット再販します



最後にお知らせです。

お小遣い管理セットは

**2026年4月20日～24日まで**の期間限定で再販します。

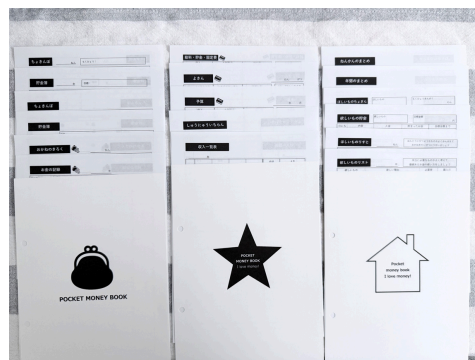
前回販売したミニサイズだけでなく、  
今回はうり家計簿サイズ（A4）も新発売！

さらに、今日から使える声掛け事例集も  
特典としてついてきます。

（A4サイズのみ）



←A4サイズのみ販売を記念して  
3日間限定特典あります



←ミニサイズは今回で  
販売終了となります

この期間を過ぎるとご購入いただけません。

気になっていた方はぜひこの機会を逃さないでください。